

項目	内容
■取組タイトル	壮瞥町子ども郷土史講座（2013年度） 第1回目：有珠山探検、第2回目：昭和新山登山（壮瞥町）
■団体名	壮瞥町教育委員会
■対象災害	火山
■取組対象	町内在住の小学3年生から6年生まで
■概要	郷土の歴史や環境、減災等を学習することを目的に始めた児童対象の事業。30年間継続しており、壮瞥町内だけでなく、近隣市町にも目を向け、体験活動の充実を図る。（現在は年に4回開催しており、1回目と2回目は昭和新山・有珠山を登山し、火山と共に生きる町としての知識や理解を深めている。）
■目的	郷土に対する理解や郷土愛を芽生えさせ、興味関心を深めさせるとともに、多様な学習機会を通して、子ども達の思いやりの心、助け合う心、健全な心の育成に努める。
■実施内容	<p>【開催日時・場所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1回目 日時：2013年6月22日 場所：有珠山一帯（壮瞥町） ・2回目 日時：2013年6月29日 場所：昭和新山 <p>【1回あたりの実施時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1回目 8:30～15:00 ・2回目 8:30～14:00 <p>【参加人数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1回目 27人（町内の小学生とJICA留学生） ・2回目 22人 <p>【取組内容・項目の詳細】</p> <p>1回目の参加者は岡田弘・北大名誉教授に案内され、バスや徒歩で南外輪山、小有珠山頂、銀沼火口を観察。2回目の参加者は、三松正夫記念館館長・三松三朗氏に案内され、昭和新山を登山した。火山と共に生きる町としての知識や理解を深めた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
■成果	学識経験者に講師として参加してもらうことで、科学的な根拠が伴った減災活動の重要性や国内外の事例を踏まえた減災活動の効果などについてわかりやすく理解できることで、職員や町民の知識や意識に一層の効果が見られている。